

各地区業況アンケート結果（2021年3月調査分）

（2021年3月23日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、3月19日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ79名の回答があり（回答率56.0%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI = (A×2+B×1-D×1-E×2) ÷ 総回答数×100、（数は回答実数）

1. 6割以上の企業が前年割れ

問1】貴社の2月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	7	5	18	20	28	78	78
比率	9%	6%	23%	26%	36%	DI-73	DI-82
売上金額/前年同月比	6	5	21	24	23	79	79
比率	8%	6%	27%	30%	29%	DI-67	DI-85

2. 3割が赤字

問2】貴社の2月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	12	19	24	16	8	79	79
比率	15%	24%	31%	20%	10%	DI+14	DI+5

3. 減少傾向続く

問3】貴社の営業窓口から見て3月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		5	28	20	4	57	-40	-33
民間建設向		8	22	25	10	65	-57	-59
自動車向		5	24	7	3	39	-21	±0
その他需要家向		8	33	20	3	64	-28	-33
仲間取引		6	29	21	9	65	-51	-56
計	0	32	136	93	29	290	-41	-39
比率	0%	11%	47%	32%	10%			

4. 第1四半期も期待なし

問4】貴社における向う4月から6月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	11	35	24	7	78	78
比率	1%	14%	45%	31%	9%	DI-32	DI-21

5. 薄中板、非常に不足続く

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	品種別	A	B	C	D	E		3月
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI
-25	-31	-32	-38	-24	-25	-4	0	-7	-10	-7	3	-3	鉄筋用丸鋼		2	26	3	2	33	-15
-17	-27	-32	-26	-35	-38	-17	-15	-16	-10	-11	0	-4	構造用丸鋼		1	23	4		28	-11
-6	-17	-26	-23	-25	-23	-14	-9	-13	-15	-6	-3	-3	平角鋼			32	2		34	-6
-30	-13	-31	-30	-20	-19	-4	-3	0	-3	20	12	21	H形鋼	1		30	1		32	3
-28	-36	-29	-38	-38	-41	-33	-29	-21	-20	-13	0	12	コラム		6	19	1		26	19
-17	-18	-16	-24	-34	-29	-14	-12	-9	-15	-9	-6	-8	小形山形鋼			35	2		37	-5
-24	-24	-25	-33	-30	-26	-10	-12	-12	-14	-9	-6	-11	中形山形鋼			32	4		36	-11
-20	-24	-32	-39	-40	-27	-18	-12	-13	-17	-13	-3	-11	溝形鋼			31	4		35	-11
-20	-24	-18	-21	-30	-27	-27	-17	-23	-16	-11	7	-7	軽量形鋼C形		3	23	5		31	-6
-15	-15	-17	-26	-21	-25	-25	-16	-26	-22	-11	5	-5	軽量形鋼広巾		1	17	2		20	-5
-58	-58	-71	-65	-70	-57	-58	-41	-3	10	35	108	127	冷延薄板	16	13	5			34	132
-55	-56	-73	-58	-71	-64	-54	-35	0	31	58	105	106	熱延薄板	10	22	8			40	105
-68	-66	-76	-64	-62	-53	-57	-34	13	23	34	114	145	表面処理鋼板	19	12	5			36	139
-65	-70	-85	-77	-78	-80	-67	-47	18	34	75	127	144	酸洗鋼板	18	14	3			35	143
-51	-49	-64	-61	-71	-46	-49	-22	15	18	49	89	93	中板	7	24	12	1		44	84
-44	-63	-63	-72	-60	-46	-52	-41	-8	-8	15	33	43	厚板	1	11	26			38	34
-47	-50	-26	-25	-29	-29	-42	-40	-11	-18	-9	0	10	極厚板	1	3	19			23	22
-18	-20	-32	-21	-33	-26	-24	-21	-10	0	0	6	19	縞板	2	6	25	1		34	26
-32	-30	-39	-38	-45	-36	-33	-26	-20	-15	-9	8	6	中径角		7	24	5		36	6
-20	-20	-24	-27	-21	-22	-23	-19	-23	-11	-3	-3	-6	ガス管黒		4	29	4		37	0
-21	-20	-27	-27	-23	-29	-19	-18	-18	-16	-6	-5	0	構造用鋼管		5	25	4		34	3
-32	-35	-40	-41	-41	-37	-31	-22	-8	-3	9	31	35	計	75	134	449	43	2	703	34

6. 価格転嫁が進まず苦戦、薄中板は入手難

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	例年と比べて建築物件が少ない。価格の転嫁も遅れている。
	B	(形鋼)引合い、荷動きが徐々に増えているので、春需の兆しを感じる。しかし、現状はまだまだ中小物件が少なく、決まりが非常に悪い。値上げは小刻みで長期化している。
	C	本来、品不足となりそうな状況だが、荷動きが低調であり品薄感はない。
	D	物件も少なく、見積りもない。自動車向けは横ばいキープ。
東北	A	積算物件はあるものの、需要はしばらく低調。口銭確保は難しい。
	B	価格が高値で推移しているが、足元少ない状況で夏以降の物件見積りが多い。
	C	2月、3月の数字が悪い。

新潟	A	特に鋼板において、品薄からの高値とメーカー値上げが相まって価格転嫁に時間の猶予はない。刻々と入荷単価が上昇しており、価格転嫁に乗り遅れることはできない。
	B	今年に入り需要は悪化傾向。メーカー値上げ、薄板の入手難と厳しい状況は3月、4月も続くと思われる。
	C	値上げのアナウンスは行っているが、価格転嫁を実行する引合いがない。
	D	3月に入り、若干、地場物件が小さいながらも出てきた。Sクラス、Hクラスのファブは今年中の仕事を確保した様である。
	E	今月になり荷動きは順調に回復。特にひも付きは好調だが、店売りは当地でも出遅れている。
	F	春めいてきたが、需要は先細り傾向。新規引合いが少なくなってきた。メーカーの値上げが急ピッチで進行しているが、慎重に価格を提示しなければならない。
	G	薄板は年度末に向けて自動車向け中心に旺盛となっているが、厚板は建築関連の需要が停滞し盛り上りに欠けており、品種毎に需要に大きな差がみられる状態が続いている。
神奈川	A	需要の方は大きな変動は感じられないが、各メーカーの値上げが急がれている。その分の転嫁が品種によっては計画通りに厳しい部分もあり、今回も大幅な価格改正の実施を進めなければならない状況がくるとと思われる。
	B	民間建設、公共建設の引合い、受注は引き続き増えてきている。材料の納期が長期化している。在庫切れを起こさないよう気を付けている状況。工作機械向けの引合い数が少なく、先行き不透明である。
	C	メーカーよりの価格転嫁が進まず苦戦している。業界で濃淡あるが、4～6月の需要が見えにくい。
東京	A	3月に入り、薄板三品の市中入手が困難を極める環境となった。仲間商売は先月末あたりから、ほとんど成立していないと思われる。価格、値上げに関して店売りは順調だが、ユーザーへの価格転嫁にはどこも苦戦している。
	B	材料の逼迫状態はまだ継続しているので、もうしばらくは輸入材入着も少なく、この状態が続いてほしいと思う。市況はそれなりに上がってきているが、高炉の値上げには追い付いていないので、段階的に値上げをお願いしている。しかし、需要家向け（ひも付き）はなかなか値上げを認めてもらえず、聞けば高炉もひも付きの値上げは遅れているとのこと。上がらないのも当然である。建築需要は引き続き低調。物件が出てくるのは夏場以降。
	C	好調であった民間建築の大規模案件に陰り。土木向けは現場で事故発生、住民との和解がなければ再開の目途が立たないと言う。1～2年停止の見込み。冷延、酸洗、表面処理、中板の仕入難に変わりないが、実需が予想以上に低迷しているのでバタバタ感は以前ほどではない。
	D	2月は売上数量、金額ともに底をついた感じである。これから多少良くなるかと予想している。
	E	仲間取引を主とした店売りは依然として低迷。自動車関連、建機、半導体など回復が見られるが限定的か先行き不透明。価格は鉄鋼メーカーの値上げを受けて、この先は強含みとする。
	F	店売り関連はメーカーの納期遅延および一部の建設機械の生産持ち直しもあり、前年同月比でみるとやや増加。需要家関連は海外の建設機械の生産も増加していることから前年同月比やや増加。
	G	需給バランスが非常にタイトである。特に冷延薄板については経営に影響するレベル。メーカーの価格転嫁も進まず、非常に厳しい。
	H	鉄筋の店売りは低調。3月中旬より店売り建値8万円台中盤とする。
	I	薄板が不足している。仕入玉の値上がり厳しく、弊社もそろそろ値上げを検討せざるを得ない状況。受注状況はわずかに好転しているが、単価が厳しいため粗利が著しく減少する傾向にある。

静岡	A	地域限定で取り組んでいる住宅向け鋼管杭の案件が1年以上経って動き始めた。工法が多種あるため、予算などで他工法に流れる可能性は免れない。鉄鋼流通最大手の出店が止まらないが、出店先、地元の老舗店との関係づくりが気になる。価格崩壊の時代ではないと思うが、関係先と各メーカーとのギブ&テイクかと思われる。コロナ禍以来、仕入先の方々の来社が少なくなり、鉄屋のコミュニケーションがゼロ。たまにかかってくる電話についつい「どうでっかあ?」「ぼちぼちでんなあ!」の会話に愚痴を言ったり聞いたり次第。関係筋の不良債権などの発生はない。
	B	値上げは浸透してきているが、年度末の荷動きは感じられない。在庫状況によるが、販売重視の単価も一部で見受けられる。建築、設備関連の稼働率が上がるのはGW前後と思われる。
石川		民間建設に明るい兆しが少し見えてきたが、(ドラッグ業界は除く)コロナに関係ないか。コロナを利用して伸びる業界が今のところ強い気がする。ものづくりはもう少し時間がかかりそう。土木関連にどんどん国家予算を使って元気と強い国土に貢献してもらわないといけな。
富山		電子機器向けが回復し、外注先を探す業者もある反面、建築部門を閉鎖する事業者も出ている。人の動きは少しばかり戻りつつあるが、物件情報も公共物件と商業店舗が少しあるだけ。時短や一時休業によるコスト激減が拡大している。
福井		北陸新幹線、福井駅内4駅、1車両基地は現在鉄骨建方進行中。製造業では、大手部品メーカー等への生産ラインにかかわる設備製造が忙しくなっている。
大阪		鉄鋼メーカーの供給不足によりタイト感継続。酸洗、冷延のタイト感は異常だが、供給不足が続くことから3~6ヶ月は少なくともタイト感が継続されるのではないか。建機好調、産機回復基調、鋼製家具ピークアウト、配電盤一服、建築低調。新年度に切り替わると終了する助成金などにより信用リスクの高まる取引先が増えそうであり、懸念材料である。
兵庫		3月1日より切板を値上げしたが、同業他社はいまだ、現行価格から値上げをしていないようだ。
岡山		注文電話の数、問合せの電話、FAXは少ない。伝票枚数が少なく、事務所、営業、運転手は午後5時ジャストで帰宅する日が多い。電炉メーカーの大幅値上げの転嫁に苦労している。不等辺、メッキ品の値上げを忘れずにするように努力中。
香川		四国については、土木は底堅く、建築、造船、建産機は厳しい状況。夏頃までは同じような状況が続くと思われる。Mグレード以下のファブは地場物件が極端に少なく仕事も空いているファブも出ている。
北九州		需要低迷ながら、スクラップ高に伴い、4月からのメーカー値上げアナウンスが止まらない。流通の立場は厳しいが、販売を上げていくしかない。
福岡	A	年度末需要へ期待感があったが、今年に入ってから建築向けの材料の荷動きが非常に悪い。鋼材需要が限られた中で、主力商品の歯抜けがあり、特に表面処理鋼板の入荷は非常に悪く売り上げが伸び難い状況。企業体力がない、先行き不透明な企業は厳しい状況が続いているため、さらなる与信管理が必要。
	B	薄板三品在庫が少なく、タイト感があるが、需要は低位安定で推移しており、扱ひ品種全般で価格転嫁を進めているがメーカー値上げが先行しており、厳しい状況。